

21西尾

21世紀にかける西尾市民会議 〈2020.8.24〉 No.142



中村けん市長は、

**市民に対して不誠実!!
無責任!!**

過ぎる!!

No.142

ご覧下さい。ご意見もどうぞのりこのホームページ <http://www.noriko.to/>

のりこ & のりゆきの 辛口議会だより

熊さん

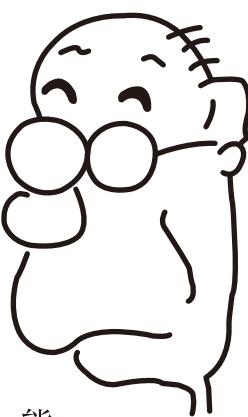
ご隠居

熊さん

ご隠居

ご隠居

熊さん



「それは、どういうことなんだい？」
「見て、3つある。①は、仮囲いを取り外すだけ
の話に、一色地区のPFI全般についての話を
入れてしまったこと、②は、本来の契約書を
（西尾市とSPC）以外の西尾地域開発（下請業者）
が公表した見直し方針（市営住宅建設は取り止め、
旧一色支所は、取り壊して売却し、民間による
活性化を図る。）
難しくなったこと、③は、平成30年3月に中村市長
が読みられないと読める（裏面参照）。」

熊さん

「それは、ね。旧一色支所見直しを『骨抜き』にし
て、SPC側が撤去の条件として、『PFI見直しを白紙に戻す』
うるという条項を入れることを要求し、中村市長が、
これに応じてしまつたからさ。」



熊さん

「ご隠居さん、7月の臨時会でPFIの見直しを『骨抜き』にし
て、SPC側が撤去の条件として、皆が言つて
いるけど、どういうことなんですか？」

「中村市長は、どこまでSPCにすり寄るんだよお！」

「多くの市民から意見を聴き、結論づけた『見直し方針』を投げ捨てて、『市営住宅建設』をよみがえらせちまつたのは、市民への裏切り行為だ。」

「中村市長は、いつさい会でも、中村市長からは、具体的な内容の説明は一切なかつた。」

「そうだね。平成30年3月に、旧一色支所に付いて市の方に歩み寄る姿勢などまるでないように見えるぜ。」

「それに、中村市長は、議会には、和解契約書の内容を示したが、市民には全く何の説明もしない。」

「中村市長は、PFI全面見直しを掲げて当選したんだぜ。市民に対して、余りにも『不誠実』じゃあないかい!?」

「その今後の方針を公表した時も、増加費用訴訟の判決に對して控訴しないことを決めた時にも、中村市長は、市のHPに「メントなど載せていないのに、今回は、全く何もなし、知らんぷりだ。」

「7月17日の、一色地区での仮囲い取り外しの説明は、中村市長からは、具体的な内容の説明はないよ。」

「中村市長は、いつさい意見を聴き、結論づけた『見直し方針』をよみがえらせちまつたのは、市民への裏切り行為だ。」

「それだけ。市民に対する余りにも『不誠実』じゃあないかい!?」

「そうだよなあ、ひでえ話SPCが『1』譲つたとすれば、市は『10以上』も、譲つたということなのだ。」

「しかし、実際の中身は、SPCが『1』譲つたとすれば、市は『10以上』も、譲つたということなのだ。」

「そうだよなあ、ひでえ話SPC側は、じゃねえか！SPC側は、みやげで、SPCが『1』譲つたとすれば、市は『10以上』も、譲つたということなのだ。」

「なるほど、契約書は、俺らには、『PFI見直し』をする（）を、住民の了解はおろか市民に何の説明もなしに、ひっくり返してしまったことだ。」

「でも、中日の記事やあ、仮囲いの取り壊しは、市とSPCとが歩み寄つて、和解契約書が結べることになつたつて、中村市長は、言つてゐるね。」

「しかし、実際の中身は、SPCが『1』譲つたとすれば、市は『10以上』も、譲つたということなのだ。」

「そうだよなあ、ひでえ話SPCが『1』譲つたとすれば、市は『10以上』も、譲つたということなのだ。」

「SPCが『1』譲つたとすれば、市は『10以上』も、譲つたということなのだ。」

「SPCが『1』譲つたとすれば、市は『10以上』も、譲つたということなのだ。」

「SPCが『1』譲つたとすれば、市は『10以上』も、譲つたということなのだ。」

仮囲い撤去合意書の驚くべき内容!!

熊さん おう、契約書はどんな内容なんだよ。左に、条項の中で一番ひどい第5項を、原文のまま（読みやすくするため、「チックは、筆者が施しました）載せるから読んでおくれ。

【甲】は西尾市長 中村健
【乙】は株エリアプラン西尾 岩崎智一
【丙】は株西尾地域開発 鈴木一美

5 多機能型市営住宅等整備事業の一時中止および再開については、現在調停手続き中であることに鑑み、今後の進め方については誠実に甲乙丙協議のうえ定めるものとする。

熊さん 何と、一色地区の住民から意見を聞いて、中村市長が決定した「PFI見直し方針」が、影も形もないじゃないか？！

△隠居 そうだろ。「見直し」で、消えたはずの『市営住宅』が、『復活』しちゃあつている。

熊さん しかも、「一時中止」と「再開」は書かれてるが、「見直し」は、消えちまつたの。

△隠居 そり、今後は、【乙】や【丙】が「うそ」と言わなければ、中村市長は、旧一色支所に関しては、何の見直しもできないってことさね。

熊さん 中村市長が、これからも見直しを進めようとすればするほど、一般市民の支払う税金を、乙や丙に差し出すことになるってことかい？？

△隠居 そんな危ない「仮囲い撤去」だつてことを、中村市長は承知の上で合意してしまったのや。

市民団体には、「見直しを続ける」と絶対

熊さん 「市のPFI法違反」に対し裁判を起していた市民団体が、訴訟を取り下げたって？

△隠居 ああ、今月上旬の「中村市長が、PFI見直し方針の通りに実行する」と約束したので、取り下げた」という話だが…。

熊さん しかし、SPCとは、市長は、自らの見直し方針で示した「市営住宅建設取止め」を打ち消すような合意をしちゃつたじやないか！

△隠居 そうだね。市長は、一方でSPCに「良い顔」をし、他方で市民にも「良い顔」をしているようだね。

熊さん 中村市長も「タヌキ」になつたもんだね。だが、もう既に、大きな「しつぽ」が見えちゃてる。市民を馬鹿にし過ぎじやないかい。

△隠居 たというのは、本当かい。

本物だよ。一口で言えば、「西尾市方式」は、【丙】に名を借りた「官製談合」だよ。

熊さん それでも、寄集めSPC主導の市長公認の談合だ。何で、いつもちまたんだい？!! 市も、当初は、本来のPFIのように、複数の民間企業から、PFI事業の企画提案書を出させ、それを、市が、比較検討して、PFI契約を結ぶ企業を決定しようと/orしていったが…。でも、他に応募してきたので、榎原市長のツルの一声で、その寄集めSPCと契約することになつたんだろう。

△隠居 どうしても西尾市方式PFIを進めたい榎原市長と、企画能力、交渉能力のない副市長や部長らがドンドンSPC寄りの条件を丸呑みして、酷いPFI契約ができていったのさ。が、民間に資金を出してもらって、行政に代わって事業をしてもらう制度なんだろ？

△隠居 そうだよ。ところが、西尾市方式は、民間（エリアプランSPC）にも資金がないため、金融機関から金を借りて事業資金にする、というんだ。しかも、その借入の利息や手数料まで、市が面倒を見る契約だというから呆れちまうのや。

△隠居 おまけに、SPCは寄集めで信用がないもんだから、市が、金融機関からの借入の保証人になるつていうんじゃ、到底「対等な契約関係」とはいえないよな。まるつきり市に「おんぶにだっこ」じやねえか。

△隠居 熊さん さうに、事業の内容、単価の計算も、SPCの主導だろ。新築する施設は、市民の意見も十分に聴かずに、SPCが儲ける施設（プールやフィットネス）を、そもそも市民のためといわんばかりに計画に入れ込み、リスク分担も、SPCに一方的に有利（すなわち市民に不利）にした結果、できたのが西尾市方式のPFI契約なんだよ。だからSPCは、榎原市長や副市長らに、契約案を審議する議会の「直前まで公表しないでくれ」と求め、議会開会3日前まで、議員にすら、渡されなかつたんだよなあ。

△隠居 そのため殆どの議員は、契約書を読んでいない。SPCも、榎原市長もやり方が汚ねえや！！

△隠居 熊さん その上、市長や副市長に土下座をされたとかで、内容も分からずにはんせいに賛成してしまつた（当時の市民クラブの議員のせいだ、全国でも例のないSPCも、榎原市長もやり方が汚ねえや！！）余りにもSPCに都合の良い内容なんで、3年前の市長選では、「PFI契約」の凍結、全面見直しを掲げる中村けん候補が、榎原市長をダブルスコアで破つたんだよね。

△隠居 熊さん その中村市長が、PFI見直しを放棄するような合意書に署名したまうなんて…!! 中村くん!!俺たちにも、ちゃんと分かるように説明してくれよ!!